



未来を夢見て Season 2

2021/6/25 No. 85

教師は授業で勝負する・・・(時々「技」)

6月25日(金)、久しぶりに気持ちのよい青空が広がった一日となりました。そして、この青空のように気持ちのよい授業を見せていただきました。3校時、3年4組で宮崎先生が初任の先生そして教育実習生の先生に示範授業を算数で行ってくださいました。教室に入った瞬間、教室の中にしんとした心地よい緊張感があって、子供たちが集中して学習に取り組んでいることがすぐ伝わってきました。

「指でさしなさい」「声を出して読みましょう」「ではノートに書きましょう・・・」宮崎先生は短い言葉で子供たちに指示を出し、指示を出した後は最後の子が終わるまで(と言ってもあまり時間差がない)じっと待っています。子供たちの姿から日々の授業で宮崎先生と子供たちが何を大事に授業に取り組んできたのかがよくわかりました。私も参観させていただき、とても勉強になりました。



さて、24日(木)、この日は朝に臨時校長会議がありました。終了後、吉岡コミュニティーセンター3階にある『メープル TAIWA (大和町子どもの心ケアハウス)』にお邪魔しました。スーパーバイザーが旧知の千葉先生(前 富谷小学校校長)であることもあり、一度お伺いしたかったのですが、なかなかそのチャンスがありませんでした。3階に伺うと、とても落ち着いた雰囲気、学びサポーターの方々と数名のお子さんが課題に取り組んでいました。みなさん礼儀正しく、挨拶もしっかりしてくださいました。約1時間、子供たちの様子を見守ったり遊んだりした後、学校に戻らせていただきました。



さて、写真左は4年生の総合的な学習の時間で白杖体験を行っている様子です。コロナ禍ではありますが、活動内容を工夫すれば、このように体験をしながら学びを深めることが可能です。子供たちの真剣に取り組んでいる姿がとても印象的でした。

今週は学年ごとの「不審者対応避難訓練」「内科検診」そして「クラブ活動」とたくさんの行事が続いた1週間でした。特に水曜日に行われていたクラブ活動では、1回目ということもあり、クラブ長を選出したり、活動計画を立てたりと、ここでも子供たちの自主性を育てながら先生方が指導している様子が見られました。それにしても写真の先生の真剣な表情。そして、見事な技に感服しました。子供たちを惹き付ける魅力は、話術やそのお人柄だけでなく、このような本物の技を子供たちに魅せることができる場所にも秘密がありそうです。(文責：手代木)